中間市民図書館のおすすめの本 11月号

○今月の新しい本からおすすめの本を紹介します♪

１・２年生むけ



『こぶたのブウタ』

神沢 利子作・絵

こぶたのブウタは、くいしんぼう。たべるものなら、なんでも大すきだけど、たべられるのは、大きらい。なかよしは、きつねのツネタ、うさぎのミミとウサタ、りすのコリコ。野原で毎日元気にあそんでいます。ところがある日、もういないと思っていたオオカミがあらわれて、ブウタはオオカミの家へつれていかれることに…。

３・４年生むけ



『友だちいないとダメですか?』

令丈 ヒロ子作，まつなが もえ絵

わたしは、ダメダメ小学校3年2組のもか。ある日の昼休み、友だちはいないままでもいいっていったら、みんなに「友だちはいないとダメ」っていわれてしまった。家に帰って、親友となかよくしている6年生のおねえちゃんや、友だちがいっぱいいる中学2年生のいとこのおねえちゃんにそうだんしてみると…。

５・６年生むけ



『星の台所』

落合 由佳著

人に言えない悩みを抱え、不登校を続ける小学5年生の星。心配した母親が、料理上手な家庭教師の天を連れてきた。天の作るアイディア料理の影響で、星も料理に興味を持ち始める。天と料理を作りながら星は、学校に行かない理由に向き合い始め…。

全学年むけ



『47とどうふけんをおぼえる妖怪ずかん』

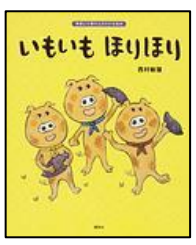
朝里 樹 妖怪監修

すなかけばばあ、てんぐ、ちょうちんおばけ、雪女…。47の妖怪たちが百鬼夜行をしながら、自分ににた形のとどうふけんにばけているよ。どこにどんな妖怪がいるかな？じっさいの地図と見くらべてみよう。その地いきにつたわる妖怪や、その地いきではっけんされた妖怪もしょうかい。

○今月の特集展示から、イチオシの本を紹介します♪







『いもいもほりほり』

西村 敏雄作

そらをみていたぶたのきょうだいが「あのくも、いもにみえるぞ～」といいました。そこで、ぶたのきょうだいは、いもほりにでかけることに。やぎじいさんにたのむと、いもほりをさせてもらえることになりました。いもいもほりほりいもほりほり。ほってほってほりまくれ！



『石油のものがたり』

大河内 直彦文，山福 朱実絵

自動車や飛行機の燃料として、また、ものを作る原料として、わたしたちのくらしにかかせない石油。その歴史は、太古の時代の海で、植物プランクトンが大量発生したことに始まった。プランクトンの死がいがなぜ石油になったのか？なぜ日本ではあまりとれないのか？石油のなぞにせまる。



『はくぶつかんのよる』

イザベル・シムレール文・絵，石津 ちひろ訳

かわのほとりにたたずむはくぶつかん。よるになり、だれもいないたてもののなかで、いっぴきのきいろいチョウが、ろうかへととびだしていきました。すると、ほかのチョウたちもうごきだし、「さあ、はやくおきて！」とはくせいのへやでよびかけます。やがて、どのいきものもめをさまし、みんないっせいにうごきはじめて、あつまりだし…。

ほかにもたくさんの本が まっているよ。

中間市民図書館に ぜひ来てね！



本の内容紹介はＴＲＣ MARCより